

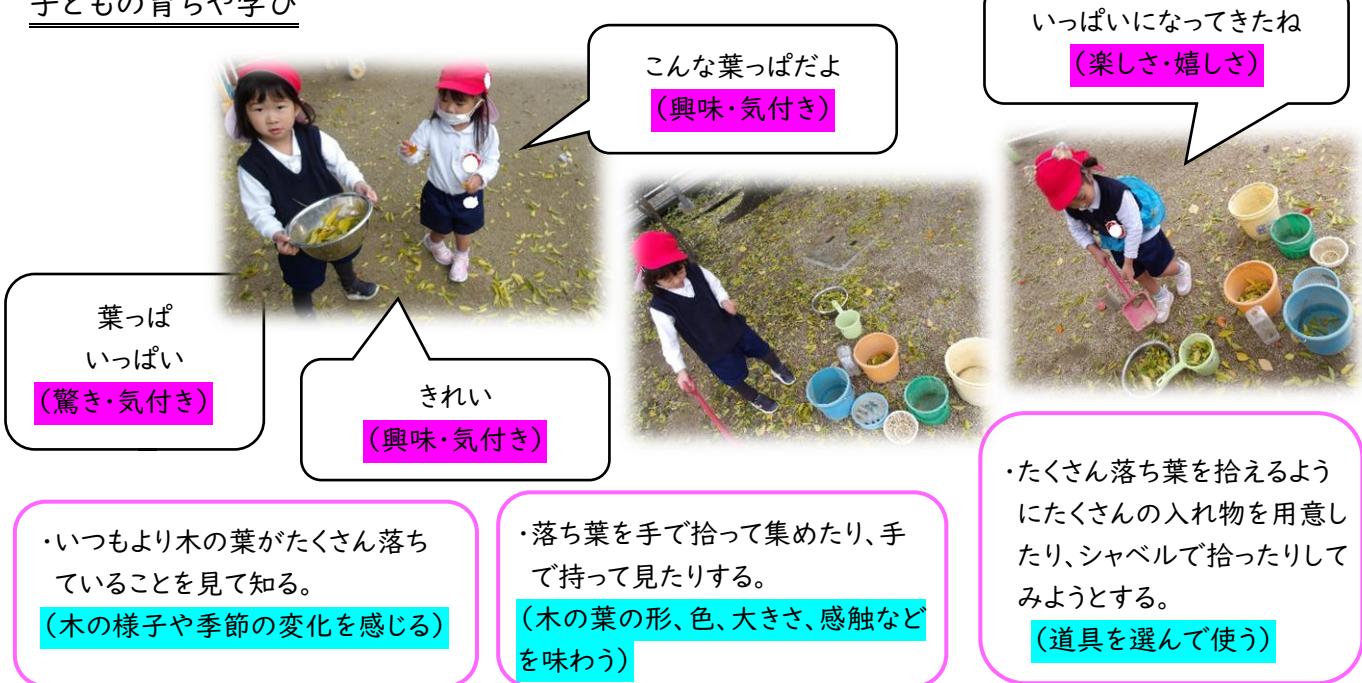
『葉っぱいっぱい』 3歳児 11月 伏見こども園

エピソード

いつもより風が強く吹いていた日。Aちゃんが総合遊具の方に走って行くと、木の下に葉っぱがたくさん落ちていることに気付き、「葉っぱいっぱい」と、近くにいた保育者に伝えました。保育者が「葉っぱいっぱいあるね」と声を掛けると、Aちゃんはボウルを持って来て、落ち葉を1枚ずつ拾ったり、両手でかき集めたりして入れていきました。保育者もAちゃんと一緒に落ち葉を拾っていくと、ボウルに落ち葉がたくさん集まりました。Aちゃんが「きれい」と嬉しそうに見せたので、保育者も「黄色や緑のきれいな色だね」と、声を掛けました。

そこへBちゃんも来て一緒に落ち葉を拾ったり、「こんな葉っぱだよ」と見せ合ったりすると、Aちゃんはバケツやザルなどを次々に持って来て落ち葉の近くに置きました。先程までは手で落ち葉を拾っていましたが、今度はシャベルで集めてバケツに入れていきます。その様子を見てCちゃんもAちゃんと同じようにシャベルで落ち葉を拾って手桶の中に入れました。Cちゃん「いっぱいになってきたね」、Aちゃん「うん。いっぱい」と話し、拾った落ち葉を大切に残しておきました。

子どもの育ちや学び



保育者の思い

- いつもよりも木の葉が落ちていたり、風で葉が舞ったりする様子がありました。遊ぶ中で身近にある木々や葉の様子に目を向けてほしいと思いながら保育者も園庭に出ました。
- Aちゃんが「葉っぱいっぱい」と、たくさん葉があることに気付く姿に共感したいと思い、保育者も「葉っぱいっぱいあるね」と声を掛けました。
- 落ち葉を見るだけでなく、手で触ることで木の葉の様子や感触を味わってほしいと思い、保育者も一緒に手で集めました。
- 木の葉の色やきれいさ、以前よりも色が変わっていることに注目してほしいと思い、「黄色や緑のきれいな色だね」と、Aちゃんに声を掛けました。
- ボウルだけでなく、バケツやザルなどを次々に持つて来る姿から、落ち葉をたくさん集めたいと思っているのかなと感じました。また、シャベルで拾うことでたくさん集めることができると考えたのかなと、子どもの工夫している姿が面白いと思いました。

家庭だったら…

少しずつ木々が色づき始めています。子どもと一緒に身近にある木や葉に目を向け、触れてみてください。自然の面白さに出会ったり、季節の移り変わりを感じたりできるかもしれませんね。